

第 66 回

成

人

式



—主な内容—

- 02 | 第66回大蔵村成人式
- 04 | 四ヶ村棚田ほたる火コンサート
- 05 | 第31回大蔵村納涼花火大会
- 08 | おおぐら葉山塾

広報

おおぐら

平成

26/9

No.661

主な出来事

新成人が生まれた
平成6年度はこんな年でした!

— 大蔵村の主な出来事 —

○カルデラ温泉館オープン(4月25日)

— 日本・世界の主な出来事 —

◎リレハンメル冬季オリンピック開催

◎日本人女性初の宇宙飛行士向井千秋
さんがコロンビアで宇宙へ

◎関西国際空港開港

ご成人おめで

とうございませす

— 第66回大蔵村成人式 —



▲力強い誓いのことばを述べた 滝沢卓さん(赤松) ▲代表で記念品を受取る 小野利奈さん(比良稲沢)



8月14日(木)、第66回成人式が中央公民館で開催されました。大蔵村で今年新成人を迎えたのは、平成6年度生まれで、平成21年度に大蔵中学校を卒業された33名の皆さんです。当日の式には、そのうちの29名が出席し、女性は華やかな浴衣やドレス姿、男性は凛々しいスーツ姿で、久しぶりに会う友人との話に花をさかせていました。
進学や就職などで村を離れて暮らす若者の割合が増えている今日、新成人は生まれ育った大蔵村をどのように感じ、また、将来をどう考えているのでしょうか。
平成17年から継続している新成人アンケートを今年も実施し、村に対しての思いを探りました。



▲受付や接待など、式の運営を支えてくれた高校生ボランティア「ぎやらくと」の皆さん

▶当日は10歳を迎える大蔵小4年生の3分の1成人式も同時に開催され、成人を迎えたお兄さんお姉さんへ激励の歌とメッセージを送りました。

なつかしい中学時代... 恩師からの激励

今年度成人を迎えられる皆さんは、村内の中学校が一つに統合した初年度の卒業生でもあります。

成人式には、大蔵中学校3年生の時の担任を受け持った天野岳彦先生が、お祝いに駆けつけてくださいました。

ご成人おめでとうございませす。

懐かしい顔ぶれと再会し、中学校時代のことがつい先日のことのように思えてきました。これからも夢に向かって一歩ずつたくましく突き進んでください。

「七転び八起き」常に挑戦の気持ちを忘れずに、がんばれ!



— 回答者数29名(男12・女17) —

Q1 あなたは現在、大蔵村に住んでいますか?

住んでいる... 6人
住んでいない... 23人

Q2 あなたは今後、大蔵村に住み(続け)たいですか?

- ア.是非住みたい... 5人
- 住み慣れている、過ごしやすい
- いずれ親の仕事をしたいため
- 好きだから
- 置いてきたものが多い
- イ.出来れば住みたいが住めないだろう... 7人
- 結婚したら夫の実家にいたい
- 世界進出するから
- 仕事のため
- 交通の便が悪い
- 三男だから
- ウ.あまり考えていない... 17人
- 仕事を続けたいから
- 就職は関東にしたいから
- 仕事に村に無いから
- 東京だから
- 転居したから
- 不便が多い
- 運命に任せます
- 考えていない
- 迷っているから

エ.出来れば住みたくないが住むことになるだろう... 0人
オ.絶対に住みたくない... 0人

Q3 成人となりこれからやっていきたいこと(夢)はなんですか?

- 自立して生活すること
- 成人として恥ずかしくない人間になる
- 名を馳せる!
- 旅する!
- 新しいことにチャレンジする
- 夢を叶える
- カードゲームの頂点
- 資格を取る
- 就職、しつかり働く
- 夢は看護師、公務員
- 海外に住みたい
- 結婚して素敵な家庭を築く

Q4 大蔵村の好きなところ・嫌いなところがあればどんなところですか?

- 好きなところ
- 自然が豊かできれいなところ
- 平和なところ
- 住みやすいところ
- 落ち着くところ
- トマト
- 人がいい

Q6 もしあなたが大蔵村の村長だったらどんな村をつかっていきますか?

- 平和な村
- 住みやすい村
- 素敵な村
- 野菜が有名な村にする
- 笑顔が絶えない村
- 楽しくて、だれもが住みやすい村
- 便利をよくしたい
- 住みやすい村
- みんな住みやすい元気な村
- 人の多い村
- 美しい村
- 行事が多くてにぎやかな村
- こどもの多い村
- いまのままの自然を

●嫌いなところ

- 交通の不便さ
- 駅がない
- 買い物をするところがない
- コンビニがない
- 田舎すぎる
- 雪が多い、虫が多い
- なにもないところ

Q5 大蔵村に今一番必要だと思うものはなんですか?

- 若い人、子ども、美人
- 発展、活気
- 駅(交通機関の充実)
- 電車
- 多機能な施設
- コンビニ



第31回

大蔵村納涼花火大会



▲可愛らしく、また大人顔負けのかわいダンスを披露♪



▶大抽選会はたくさん人で賑わいました



▲多彩な音色で、素敵な演奏を披露してくれました♪

8月9日(土)、大蔵村「納涼花火大会」が盛大に開催されました。すっかり夏の風物詩に定着したこの花火大会は今年で31回目を迎え、村内外から約3,000人もの見物客が集まり、約2,000発の花火を楽しみました。

あいにくの雨模様となった当日でしたが、夜の花火大会を盛り上げようと、日中には、Oh!蔵SPOR Tキッズダンスサークルによるダンスの披露や大蔵中学校吹奏楽部による演奏が中央公民館集会所で行われ、観客を楽しませてくれました。

また、旧消防分署前の広場では、村の特産品など豪華商品が当たる恒例の大抽選会が行われ、たくさんの人で賑わいました。

あたりがうす暗くなると心配された天候も回復し、いよいよ午後7時半に打ち上げが始まりました。時折小雨がぱらつく中ではありましたが、豪華絢爛スターマインに迫力満点の尺玉、子どもの誕生を祝う赤ちゃん号などの記念花火が次々と夜空を彩ると、訪れた人は歓声をあげて見上げていました。

小雨降る夜空に咲いた 2,000発の花火



棚田に灯るほたる火と、オカリーナのやさしい音色…

四ヶ村棚田 ほたる火コンサート



8月2日(土)、豊牧地区の棚田で、四ヶ村棚田ほたる火コンサートが開催されました。会場には村内外から約1,500名の方が訪れ、幻想的な夜を過ごしました。

ほたる火は、空のペットボトルを利用し、ろうそくを立てて提灯をこしらえ、その提灯を棚田一枚一枚のあぜ道に立てて火を灯したものです。今年も約1,200本のほたる火が棚田に灯りました。

「日本の棚田百選」にも認定された四ヶ村の美しい棚田をたくさんの方に知ってもらおうと、四ヶ村棚田保存委員会が中心となって取り組み始めたほたる火まつりは平成16年から実施しています。平成18年からオカリーナのコンサートが加わり、現在は実行委員会が中心となって今年で9年目を迎えました。

世界的に活躍するオカリーナ奏者大沢聡さんグループの演奏が始まると、澄みきったオカリーナのやさしい音色が棚田の山間に響き渡り、来場者の皆さんはゆったりと聞き入っていました。また、大蔵中1年生7名の皆さんもオカリーナで「ふるさと」等を共演しました。

日暮れとともに、ほたる火の灯りは一層光を放ち、あたりを温かく彩りました。

水曜どうでしょう 東北キャラバン in 肘折



8月7日(木)、北海道テレビ放送の人気番組「水曜どうでしょう」で企画された東北キャラバンが肘折いでゆ館前広場で開催されました。

県内では唯一大蔵村が会場に選ばれ、当日は猛暑にも関わらず、家族連れや友人同士など県内外からファン1,000人以上が訪れました。会場では写真撮影会や記念グッズ販売などが行われ、大いに賑わっていました。

あかりを灯して、待ってます



肘折温泉と東北芸術工科大学が共同で開催するアートプロジェクト「ひじおりの灯」が、7月26日(土)から始まりました。8年目となる今年は、大学院生と卒業生有志が制作した34の灯籠が旅館・商店の玄関前に設置されました。夕方、灯りが灯されると灯籠絵はくっきりと浮かび上がり、夏の夜の温泉街を幻想的に彩りました。9月15日(月)まで開催されていますので、ぜひご覧ください。

みんなでマックロ、赤松の暑い夏！ 熱闘！「どろんこバレー」



8月3日(日)、赤松生涯学習センター裏の田んぼに作られた特設コートにおいて、「どろんこバレー赤松大会」が開催されました。6回目となる今大会には、遠くは栃木県からの参加もあり、総勢14チーム70名が参加。全身泥だらけでダイビングレシーブなど果敢なプレーを繰り広げる選手の姿に、会場は歓声や拍手で沸いていました。激闘を制し、山形市から参加の「ドロゴンボールZ」が優勝しました。

ちよつとの勇気を出して やってみよう



7月23日(水)、中央公民館においてボランティア研修会が開催されました。ボランティア活動の理解から実践へとつなげ、ひいては地域の福祉力の向上を目指そうと、村社会福祉協議会が主催したものです。山形県社会福祉協議会の渡邊陽先生を講師に迎え、約40名が参加者して、グループに分かれ地域の身近な課題を掘り起こしながら、解決にはどんなことができるのか熱心に話し合っていました。

村営学習教室「未来塾」 はじまりました！



7月26日(土)、中央公民館において村の学習教室「未来塾」の開塾式が行われました。子ども達の学習意欲を高め一層の学力向上を図ることで人材育成につなげようと、村が開設して今年で2年目になります。今年は、中学生に加えて対象者を小学5・6年生にも拡大し、中学生は英語と数学の2科目を、小学生は算数を受講します。中学生46名が参加した開塾式では、塾生を代表して早坂朱里さん(肘折)が、「一生懸命勉強します」と受講に向けた意欲を語っていました。

いつまでもきれいな川を 残していこう



8月10日(日)、四ヶ村地区の赤松川上流の2ヶ所で、ヤマメの放流が行われました。これは、地域の活性化と農村環境資源の保全のために毎年実施しているもので、地元の小中学生が参加して約600匹が放流されました。お盆の帰省客にも釣りやヤマメの観察などで楽しんでもらえるよう、1匹1匹大切に放流していました。



シルバーの皆さんが 植木の剪定ボランティア



8月7日(木)、新庄・最上地域シルバー人材センター大蔵班(班長：信田昭吉氏(合海))の皆さんから、中央公民館の植木の剪定・整枝ボランティアを行っていただきました。1日がかりの丁寧な作業により、植木は見栄えがよくとってもきれいに整いました。ありがとうございました。

花火大会を前に道路をきれいに



8月6日(水)、花火大会を前に、村外から多数の見物客が訪れる合海地区石名坂周辺をきれいにして迎えようと、村職員によるごみ拾いと草刈の早朝ボランティアが行われました。道路両脇の草が刈られ、見晴らしが良くなり、とてもきれいな村の玄関口として見物客を迎えることができました。



夏休み小学生自然体験事業 おおくら葉山塾

7月25日(金)から27日(日)にかけて、大蔵小学校5・6年生14名が参加して、「おおくら葉山塾」が行われました。これは、村に暮らす優れた知恵や技を携えた「達人」たちに学ぶ自然体験事業を通じて、子どもたちの自然に対する価値観や感性、郷土への愛着心を養い「生きる力」を育むことを目的としており、今年で17回目を迎えます。肘折の祓川下流を拠点としてキャンプを行い、子どもたちは、志賀山登山や川遊びなど様々なプログラムで、ふるさとの自然と向き合い、多くの体験をしました。この3日間、12名の「達人」から木工や魚捕りなどの知恵や技術を学び交流しながら、ふるさとの豊かな自然を相手に体当たりで挑戦し奮闘した子どもたち。つらかった事や大変だった事もありましたが、それ以上に多くのものを学び感じたことでしょう。

今後も「達人」から学んだことを忘れず、そして「ふるさと」を誇りに、次の「達人」として成長してくれることを願っています。



全員、小さな「達人」になりました！

写真と史料で振り返る我が大蔵村

清水・合海における水害について⑤

文・文化財保護委員 熊谷 勝保

(先月号より続き)

合海の故伊藤熊三郎氏(明治三十六年(昭和六十一年)は、合海の昔について、自分の体験や研究、古老の口伝として次のように記している。

「大正二年(一九一三年)、自分は十歳だった。最上川の大洪水により、清水・合海は皆水没した。急な洪水だったので、上流から流されてくる橋梁、住宅がおびただしく、逃げる間もなく屋根の上や煙出しから助けを求める者多くあり、救い舟が活躍したのを戦慄ながら目に浮かぶ。大正十年、昭和五年、十三年、そして十九年と洪水は続いたが、忘れられないのは、二十三年の洪水である。その時は、丁度母が病死した時に水上がりで、八月というに寒い風の日だった。早目に入棺を済ませ、墓地の所の火葬場へ行くために棺を背負って濁流をかるうじて渡り切ったが、実に悲惨な葬式であった。」

古老の口伝に、最上川は洪水のたびに変流し、当時の本流は今と全く違い、清水の川原前(小字)辺りから山手の方を流れ、現合海の東側を南から北流し、明

土、天狗、鶴の子と流れていた。その後、宝暦年間(一七五一年〜一七六三年)頃にも最上川中流域は大いに変わり、清水・合海の本流は、川原前、堀川、春日を流れ、合海の集落の西側を流れるようになった。清水・合海の人家を守るため、家のすぐ後ろを清水の仙台屋さん付近から合海外れの金刀比羅神社のところまで、今の大きな堤防とは比べようもない低い堤防が造られた。その時、堀川にあった人家や一念寺・法含寺の寺院も堤防の内側に移動した。(後に堀川からは、開田の時に大量の墓石が出てきた。)

最上川の本流が度々変化すると、流れを安定させたり、舟運の便を図るために人工的に川を掘る作業があった。これが大変な作業で、大きなイカダを組んで堅い木材を選んで、それを削ってイカダに立て、水流の力と大勢の人の力で下流に流しながら川を掘るといふ大掛かりなものであった。一日数回それを繰り返す川を掘れば、土砂などはたちまちに流れたという。(堀川の地名の起り。)

天保年間(一八三〇年〜一八四三年)の大洪水の時にも本流は更に西側に移動し、ほぼ現在の形態を成したという。その後、明治時代になって治水のための石材を用いた護岸工事や沈床工事がされたが、今のような堤防がなかったため、大水の度に人家や田畑に大きな被害をもたらした。

(次号に続く)

みんなでモンテを応援しよう！ 9/9(土) VS 京都サンガF.C. 16時キックオフ 9/28(日) VS カマタマーレ讃岐 13時キックオフ NNDソフトスタジアム山形へ！

家庭教育電話相談のご案内

ふれあいほっとライン

(023)630-2876

○月～金 8:30～16:15
【相談員対応 9:00～16:15】

○土、日、祝、年末年始は休み
○電子メール、FAXは、24時間受付しています

E-mail: yshogaku@pref.yamagata.jp
FAX: 023-630-2874

☆子育ての悩みを1人で抱えず、お話し下さい。相談員と一緒に考えます。
☆相談の秘密は守ります。子どもからの相談にも応じます。

問合せ先
県教育庁文化財・生涯学習課
生涯学習振興室 ☎023-630-2872

読みたい あげたい 今月の1冊

絵本のお話の主人公

「からすのそばやさん」
作 かこ せんじ

「からすのそばやさん」に4年ぶり続きのお話4部作が登場。ぱんやさんの4羽の子も達が大きくなりました。その中のひとりオモチくんが主役で、人気のおそば屋さんになるまでのお話。いずみかもりのはずれにある白い畑にたどりついたオモチくん。それはそばの花でした。オモチくんは、早速そばの作り方を習います。作った手打ちそばの美味しいこと！こんなに美味しいならお店を作って…。そこでオモチくんは、おそばやさんを開くことにしました。ぱんやさん同様にたくさんのお客のメニューが登場します！

※中央公民館で借られます。読み聞かせ時間「12分」。

今月の納税(納期限9月30日)、固定資産税(第三期)、国民健康保険税(第二期)

※納期限まで忘れず納税しましょう。口座振替の方は残高の確認をお願いします。

INFORMATION



お知らせ

名月のプラネタリウム
◎日時 9/10(水)11(木)12(金) 18:30~
◎会場 教育研究センター

FPフォーラム in 新庄

◎日時 9/13(土)13:00~17:00
◎会場 ゆめりあホール・アベージュ
◎内容 ①講演会13:00~14:40

応急手当普及員養成講習会

◎日時 11/1(土)~3(月) 9:00~18:00
◎会場 最上広域消防本部
◎内容 AEDの使用を含めた

応急手当に関する知識と技能(心肺蘇生法・止血法等)の体得と指導方法について
◎受講料 無料
◎定員 40名(先着順)

山形県商工会等職員採用試験

◎採用予定数 若干名
◎応募資格 (初級)S60.4/2~ H9.4/1生の方
◎受付期間 9/17(水)~9/24(水)

ふるさと奨学ローン

◎対象 大学・短大・高校・専門学校等の学資資金、住居・生活資金
◎融資額 1,000万円まで
◎金利 年2.50%~3.65%

成年後見・相続・遺言無料相談会

◎日時 9/20(土)14:00~16:00
◎会場 新庄市民プラザ
◎主催 (一社)コスモス成年後見サポートセンター山形県支部

排水設備工事責任技術者 県内統一試験

◎日時 11/16(日)13:00~15:30
◎会場 山形ビッグウイング
◎申込 9/1(月)~30(火)

警察相談専用ダイヤル

警察では、警察相談専用ダイヤルを設置して、様々な相談に応じています。困っていること、不安なこと、手助けの必要など、何でもお気軽にご相談ください。

やまがた結婚サポートセンター 出張登録・閲覧会

登録会員同士がお相手を直接検索できる「出逢いやまがた(1対1のお見合い支援サービス)」です。
◎日時 9/13(土)、14(日) 10:00~17:00
◎会場 新庄市民プラザ

まちな保健室

◎日時 10/4(土)10:00~12:00
◎会場 ゆめりあ
◎内容 体脂肪測定、血圧測定、健康相談、栄養相談等

夜間・休日応急診療所
新庄市保健センター内に開設
新庄市夜間休日診療所
◎診療科目 内科・小児科
◎夜間診療時間 19時~21時30分

8月の日誌
2日(土) 四ヶ村榎田ぼたね火コンソート
3日(日) ふるさと味来館夏祭り
9日(土) 第31回納涼花火大会
10日(日) 第66回大蔵村成人式

法務局休日相談所

◎日時:10/5(日)10:00~16:00
◎会場:ゆめりあ
◎相談員:法務局職員・公証人 司法書士・土地家屋調査士

法務局夕方相談所

◎日時:10/7(火)17:15~19:00
◎会場:山形地方方法務局新庄支局
◎相談員:法務局職員
※登記・供託手続、隣地との境界等の相談で、予約制・面談です。

2014 翠明荘秋祭り

祭りの告知ポスター。日時:9月27日(土) 12時から14時45分。場所:翠明荘駐車場。イラストにはお団子や提灯が描かれている。

戸籍の窓

(7月16日~8月15日届出分)
お誕生おめでとう
地区 お名前(保護者名)
赤松 五十嵐豪毅くん(慎)

お悔み申し上げます

地区 お名前(年齢) 世帯主
合海 皆川 昭子(86) 圭 二
肘折 松井チヨウ(98) 高 紀

人のうごき

人口統計表。世帯数 1,105戸 (1,115戸)、人口 3,615人 (3,690人) など。

全面通行止めのお知らせ

国道458号歩道設置工事に伴い、陸羽西線升形駅・羽前前波駅間の本合海踏切を拡幅するため、平成26年9月20日~11月20日まで全面通行止めとなります。



お詫びと訂正
8月号(8月1日発行660号)5ページに掲載した地区中総体(陸上)の結果に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

放射線の測定・検査結果を公表します

大蔵村空間放射線測定結果表。測定日、測定場所、測定値(μSv/h)を記載している。

2014

四ヶ村棚田

ほたる火コンサート フォト集



この催しには、地元の方々だけでなくたくさんの方が参加し、ほたる火づくりはもちろん、当日はほたる火の設置などの準備、翌日の後片付けと朝早くから長時間かけて携わってください、皆さんの支えのお蔭で、今年も会場に訪れたすべての人に感動を与えてくれたほたる火コンサートとなりました。実行委員会を始め地元の皆さん、コンサートの運営に大活躍だった大蔵中学校1年生の皆さん、本当にお疲れ様でした。

棚田の風景は、様々な人が関わって受け継がれています。この美しい棚田を大蔵村の誇りとして、次世代に引き継いでいけるよう、地域を超えて協力し合っていきましょう。



編集と発行 ● 山形県最上郡大蔵村役場総務課 電話 (0233) 75-2111

ホームページ URL <http://www.villohkura.yamagata.jp/>
メールアドレス info@vill.ohkura.yamagata.jp